

会長との対談

～3期目の終盤を迎えて～

○：「私としては、みどりさんに今回の町議選にも是非出馬してもらいたいけど、今の気持ちはどうですか？」

F：「これまでの町議3期12年を振り返ると、まだやりきれてないことも多いので、是非今回も挑戦したいと考えています。」



○：大西多美子会長

○：「では、議員として取り組んできたことの中で、何ができて何ができなかったと思いますか？」

F：「災害時の対応や防災面は充実してきたし、議会改革も徐々に進んでいます。ただ働く女性の子育て支援やおしゃれなまちづくりについては、まだまだです。女性会議の意見の採用はあっても、企画運営する場面（議会や行政）に女性がまだまだ少ないのが現実です。」

○：「男女共同参画社会を拡充するためにも、議員だけでなく行政の管理職、地区の執行役員などにも女性がもっと入ってほしいです。働き方改革には、男女の意識改革も必要です。4期目にはこのような事も視野に入れて活動してほしいと思います。」



F：藤岡みどり議員

F：「はい、そういう社会になれば、男性も暮らしやすくなり、松前町の発展にも繋がると思います。」

そして、笑顔あふれる松前町になるよう、もう一汗かく努力をしています。」

編集後記

今年は松前町議会も8月に改選の時期を迎えます。藤岡議員も更なる思いを胸に、今回も挑戦していきます。松前町が「住みよいまち」となるよう力を注いでくれることに期待しています。皆様の暖かいご声援をよろしくお願いします。(K・I)



メールアドレス

fujioka.midori@gmail.com

☆ブログ・フェイスブックでも活動内容の一部を公開しています。

みどりの一人言



どう守る！

子どもたちの安心安全を

最近特に交通事故により子どもたちが犠牲になるニュースを見聞します。

先日の大津の事故も横断歩道で信号待ちをしていた保育士や園児たちに、あのような悲劇が・・・

防ぎようがなかったのか、検証が進んでいます。ドライバーの重大なミスは許されませんが、交通量の多い交差点の歩行者、歩道に何かガードできるものがあれば、もう少し事故は軽減できたかもしれません。

大津市長は、即、国に交通安全対策費の要請をしています。この際、私たち大人が、本気で地域の交通危険スポットを見直し点検し、子どもたちの安心・安全を確保していきたいものです。



(月・水・金) AM9:00～PM5:00
(火・木) AM9:00～正午まで



藤岡みどりの



フクワ

レポート

第21号

2019.6.10 発行



『新時代を迎えて』

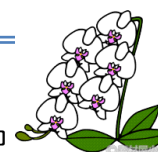
★新緑の美しい季節になりました。いよいよ平成が終わり、令和という新しい元号に変わり、新しい時代の幕明けを経験することになりました。

振り返れば平成の30年間は、大きな災害にも見舞われ、つらく厳しいこともありましたが、インターネットの普及や科学技術の飛躍的な進歩のおかげで私たちの生活も随分便利で快適なものになりました。

私も12年間の議員活動を通して、地域や町の皆さんと共に歩んで充実した暮らしをさせて頂きました。この度の改選時期を迎え、まだやり残したこともあり、今だからこそできる活動を通して、議員としての集大成を成し遂げたいと考えております。

つきましては、残り任期の仕事をしっかり勤めながら、皆様の再度の審判を受ける覚悟でこの夏の決戦に挑むつもりですので、変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

希望と夢をくれる胡蝶蘭・・・



今年も窓際の胡蝶蘭がいくつも蕾をつけ、その中のいくつかはすでに開花して、私たち事務所で仕事をする者にとって希望や夢を与えてくれます。

二鉢のうちの一つは、私が初めてここで議員生活を始めたころから毎年咲いてくれる長老花です。もう一つは4年前にお祝いに頂いた花鉢です。

さすがに12年前からのものは、花の数もだいぶ減ってきましたが、それでもいくつかは咲いてくれています。もちろん新しい鉢の方は、もうすでに数えきれないほど新芽や蕾を付け、花盛りです。私もこの元気と粘り強さにあやかって、しっかり活動を続けていきたいものです。



今年もたくさん咲いてくれました

～みどりの一般質問より～

ここが
聞きたい！

12月

Q. 学童保育体制の現状と今後は

A. 厚労省令による基準に従い放課後児童支援員を二人以上配置することになっているが、そのうち支援員一人を除いて、補助員に代えることができる。

今後各校区の放課後児童クラブは、全学年が対象になるため補助員を増やし安全面を重視していく。設備面も北伊予小に次いで岡田小も学校敷地内のクラブ設置が決まり来年 4 月からのオープン予定。

放課後児童支援員



(～0～) 対象人数が一番多い松前小も
設置場所の検討中。

3月

Q. 町長 1 期目のまちづくり公約の達成度は

A. 5 つのまちづくり公約で『誇れるライフタウン』を目指してきて、一定の成果を上げているといえる。

白石町政を引き継ぎ、クリーンで開かれた政治姿勢でこれまでの 3 年間で着実に人口微増や出生数の増加につなげている。さらに飛躍する総仕上げの年となる様に取り組みたい。

(※0※) ホップ、ステップ、ジャンプの年になると期待。

Q. 今後の水道事業の方向性とその影響は

A. 国の水道法改正により、その基盤強化のため民営化やコンセッション方式なども紹介された。民間の技術力や資金調達、運営権対価による財政負担の軽減が期待できるからだ。反面、合理化、採算性重視による水質悪化や水道料金の高騰など問題点も多い。町としてライフラインである水道事業は、飲料水の安全、安心な供給を確保し、町民の健康と安全を守ることが重要なので、自ら運営していく。

(>0<) 町長より今後水源地改修などで多額のコストが予想されるので時期は未定だが、「水道料金の値上げのお願い」をすることになるとの発言もあった。



最近の活動を振り返って ～課題を見つけ さらに次の施策に～

★やりました！（校区别）議会報告会&意見交換会

(H31.2.5)

昨年に引き続き、議会基本条例 12 条に掲げているように「住民の皆さんに議会を知ってもらい、意見交換ができるような会を年 1 回はしましょう」という事で、今回は校区别に開催しました。

原則、議員全員で開催し、校区出身の議員が中心にその会ごとに司会や運営に携わり、他の議員が受付や記録など補足支援を行いました。約 90 分の時間内で議会報告を 15 分、残り休憩含めて意見交換の時間にしました。議員で返答できるもの、後日行政側から回答をもらうものなどに分けて、住民との熱い意見交換ができました。校区によって参加人数も出された意見なども様々でした。アンケートの結果では、是非またこのような機会を設けてほしいとの声が多く見られました。今後は今回の反省点を踏まえて多くの課題に挑戦していかなければならないと感じました。



意見交換会の様子(北公民館にて)

地域の皆さんと共に・・・

★サロン活動から

民生委員さんやお世話をされている皆さんと共に地域の高齢者の方々のおしゃべりや笑顔から、私はいろんな力を頂きました。健康体操の動画を撮って使って頂いてます。



いつもお花がいっぱいの会です

★老人クラブ総会

地域の会合では、今年の町内のグランドゴルフ大会で当番が当たっていて大変だと聞いていますが、練習は土手でしっかりされているようです。新しくできたコミュニティ広場ではクロッケーの練習をされています。元気な皆さんに私も負けてはいられないと、パワーをもらっています。



防災関連

★防災絵本の読み聞かせで (H31.3.26)

防災士として、幼い子どもたちへわかりやすい絵本で読み聞かせをする活動、防災教育の一環。



岡田保育園にて、防災絵本に
聞き入る園児たち

★コムズフェスティ「女性と防災の会」分科会 (H31.2.2)

災害の程度や種類、遭遇した場所によって変わる避難について、大きな地図を見ながらコースを考え安全な場所を探す作業を実施。



★フレッシュ・リブ学習会では (H31.1.27)

歌うママ防災士柳原志保さんの実体験を基にした防災講話。子育て中のママにもお年寄りの介護が必要な家庭でも、即実践できそうなわかりやすいお話に、改めて女性の視点の大切さを学んだ。



身振り、手振りのお話が
会場を一つに

★防災フォーラムイン大阪に参加 (H31.3.16)

全国の防災情報のスペシャリストの講話から見えてくる今後の地域防災のあり方や地区防災計画の必要性を感じた。

★観光に力を入れて(松前町内の見どころ、いいもの発見で活性化を)

・「松前～いいところ見つけ隊」や『観光ガイドボランティアグループ「はんざり」』さんの活動、特に各グループの企画する内容を広報していく作業の部分をお手伝いさせて頂いてます。松前の観光資源の掘り出しやそれらをどう町内外の人々に知ってもらうかを考えます。

また、その拠点となる観光協会の母体作りに、これからも奔走していきます。

・松前史談会には会員として従来より活動に関わり主に写真記録の部分で協力しながら、自身の文化歴史などの研さんにもつなげていきたいと思っています。



内子町観光ガイド研修
(はんざりグループで)